

## 長岡京市長のお祝いメッセージ

京都サンガF.C.の選手、監督、クラブ関係者の皆様、そして、ファン・サポーターの皆様、12シーズンぶりのJ1昇格、誠におめでとうございます。

ホームタウンの市長として、(また、サッカーファンの一人としても、)心よりお祝い申し上げます。

今シーズン、コロナ禍の厳しい状況下のなか、クラブのスローガンである「一心～みんな一つに～」のもと、京都サンガF.C.に関わる全ての皆様が一丸となって、一戦一戦全力で戦う姿に感動と勇気をいただきました。

なかでも最も印象に残った試合は、11月3日、サンガスタジアム by KYOCERAで行われた、本市のホームタウン応援デーでの大宮アルディージャ戦、0-0で迎えた、試合終了寸前、「引き分け」が頭をかすめた、私の目の前で、川崎颯太選手が劇的な決勝ゴールを決めたゲームでした。

その試合が象徴するように、チームスローガンである「HUNT3」のもと、最後まであきらめず、全力で「勝利」を目指し、戦い続けた結果が、悲願のJ1昇格につながったものと、心から感動と喜びを感じています。

さあ、来シーズンは、J1という舞台での戦いになります。

厳しい戦いや練習で培った「力」を、遺憾なく発揮され、最高の舞台での大活躍、そして「京都サンガ旋風」を巻き起こしていただき、大きな夢と希望、そして感動を私たちに与えていただくことを期待しています。

これからも、京都サンガF.C.のさらなるご健闘とご活躍を心からお祈り申し上げます。

長岡京市長 中小路 健吾